GREEN HOUSE™

DVDプレーヤー

取扱説明書

GH-DVP1Cシリーズ

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

設置の手順

製品構成を確認します。
（1 ページ）

▽

本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」「使用上のお願い」「ディスクについて」「各部のなまえ」をよく読みます。
（3 ～ 21 ページ）

▽

準備を行います。
（22 ～ 25 ページ）

▽

本製品の電源をオンにします。
（24 ページ）

製品構成の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

●製品本体	1台
●専用リモコン	1個
●単4形乾電池(リモコン用)	2本
●コンポジットケーブル	1本
●取扱説明書(本書)	1部
●保証書	1部

●付属のリモコン用単 4 形乾電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

目次

はじめに 1
- 設置の手順 1
- 製品構成の確認 1

安全上のご注意 3
- 安全に正しくご使用いただくために 3

使用上のお願い 11
- 末永くお使いいただくために 11

ディスクについて 14
- 使用できるディスク 14
- ディスクに表示されているマークについて 16
- リージョンコード（地域番号） 17
- 著作権について 17
- ディスクの内容の区分 18

各部のなまえ 19
- 各部名称 19

準備 22
- テレビと接続する 22
- リモコンを準備する 23
- 電源操作 24
- 前面ディスプレイの表示 25

再生（基本編） 26
- ディスクを再生する（基本編） 26

再生（応用編） 29
- ディスクを再生する（応用編） 29

再生（便利な再生機能編） 31
- ディスクを再生する（便利な再生機能編） 31

外部メモリーを使用する 33
- 使用できる外部メモリー 33
- USBメモリーを取り付ける 33

ファイルメニュー 34
- ファイルメニューの操作 34

本体設定 38
- 設定画面の操作 38

トラブルシューティング 40
- 故障かな？と思ったら 40

その他 42
- 仕様 42
- 故障について 43

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示

禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示

注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示

コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

⚠危険　異常が発生した場合

コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

⚠警告　使用について

禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

禁止

業務用途としては使用しないでください。
長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社 (03-5421-2255) までご相談ください。

⚠警告　電源について

AC100V以外
使用禁止

電源コードのプラグは、100 ボルト交流電源 (AC100V) のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

定期的に
プラグを掃除

電源コードのプラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源コードのプラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源コードのプラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。

コンセントから
プラグを抜く

電源コードのプラグのお手入れは、電源コードのプラグをコンセントから取り外して行ってください。
電源コードのプラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。

定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えて使用しないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。

コード傷つけ
禁止

電源コードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱うとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。

⚠警告　電源について

落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の危険があります。

濡れた手で
触れない

濡れた手で電源コードのプラグに触れないでください。
感電の危険があります。

破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントを使用しないでください。
コンセントに電源コードのプラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。

コードひっぱり
禁止

電源コードのプラグをコンセントに抜き挿しする場合、プラグ部を持ってください。
コードを引っぱると、電源コードのプラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

⚠警告　設置について

不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。

禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。

水濡れ禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。

禁止

通気口をふさがないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。
ホコリなどは、定期的に取りのぞいてください。

⚠警告　使用について

分解や改造禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。

禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱わないでください。

禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。

禁止

子供が使用する場合は、保護者が取扱説明書の内容にもとづいた指導監督を行ってください。
感電やケガの危険があります。

禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。

禁止

破損や変形、補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは製品内で高速に回転しますので、ケガをする危険があります。また、回転中のディスクには触れないでください。

禁止

リモコンによる操作は、リモコンをリモコン受光部に向けて行ってください。

禁止

目的外の使用はしないでください。
火災や感電の危険があります。

⚠警告　電池について

指定外の電池
使用禁止

指定の電池を使用してください。
指定外の電池や種類の違う電池、未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせて使用すると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス（+）、マイナス（−）の極性に注意してください。

電池を
取り外して

長時間使用しないときは、電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。

禁止

電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。

禁止

電池を傷つけたり、分解したり、水や火の中に入れないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、電池を取り出せないようにしてください。
誤飲や窒息の危険があります。

禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。

禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

⚠注意　使用について

コンセントから
プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源コードのプラグを抜いてください。
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。

適度な音量で
使用する

適度な音量で使用してください。
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。

ピックアップ
レンズを見ない

ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ないでください。
レーザー光を見続けることにより、視力が損なわれる可能性があります。

禁止

外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤飲や窒息の危険があります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

●製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
●電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
●製品を移動する際は、ディスクや外部メモリーを取り出し、電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから取り外してください。
●電源を入れたまま、電源コードのプラグをコンセントから取り外さないでください。
●視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
●疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
●映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
●大音量で長時間連続で使用すると、聴力が損なわれる可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
●運転中や歩行中など、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では使用しないでください。
●耳に異常を感じる場合は、使用しないでください。
●本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、
経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品 :｜ディスクドライブ｜電源コード｜電源ユニット｜ピックアップユニット部)

製品のお手入れについて

●お手入れの際は、電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから取り外してください。
●汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
●ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
●化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
●ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
●ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
●シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。
●ピックアップレンズにゴミやホコリが付着すると再生不良の原因となりますので、その場合は市販のレンズクリーナーを使用してください。

製品の温度について

●密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
●製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
●製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから取り外してください。

結露(つゆつき)について

●温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
●結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
●結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
●寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

●磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
●電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
●磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

●使用後は節電のため、電源を切ってください。
●長く使用しない場合、電源コードののプラグをコンセントから抜いてください。
●取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクに付属の取扱注意書をよくお読みください。
●対応する再生可能なディスクであっても、再生できない場合があります。
●レコーダーやパソコンなどで録画した DVD ディスクを再生する場合、録画したレコーダーやパソコンでファイナライズを実行する必要があります。
●レコーダーやパソコンなどによって DVD ディスクのファイナライズを実行しても、再生できない場合があります。
●ディスクに指紋やホコリなど汚れが付着すると、映像が乱れたり、雑音が発生したり、再生不良の原因となります。
●保管する際は、専用ケースに入れ、温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところを避けてください。
●信号面 (光っている面) には手を触れないでください。
●ディスクの汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってから、内側から外側へふき取ってください。
●ひどい汚れは、市販のディスククリーナーを使用してください。
●折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●液体をかけないでください。
●シールやテープを貼ると、ディスクに反りが起こり、使用できなくなる可能性があります。
●印刷面に文字などを書き込む場合、硬いものは使用せず、やわらかいフェルトペンなどを使用してください。
●正円形のディスクを使用し、それ以外の形のディスクは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱いについて

●外部メモリーに付属の取扱注意書をよくお読みください。
●対応する再生可能な外部メモリーであっても、再生できない場合があります。
●保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
●端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
●折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●液体をかけないでください。
●シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

●対応する再生可能なファイル形式であっても、再生できない場合があります。
●記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
●大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
●データの管理は、お客様の責任において行ってください。

免責事項について

●取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●運転中の製品の使用にともなって事故や交通違反が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

使用できるディスク

下記のマークはディスクラベル、パッケージ、またはジャケットに記載されています。

ディスク	マーク	内容
DVD ディスク		・12cm / 8cm ・リージョンコードが 2 および ALL ・映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL		・12cm / 8cm
DVD+R/RW DVD+R DL		・12cm / 8cm
CD		・12cm / 8cm
CD-R CD-RW		・12cm / 8cm

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。
そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本製品は、日本のテレビ方式 (NTSC) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。

●市販されている DVD ディスクによっては再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョンコードが「2」や「ALL」以外の DVD ディスク。

●DVD オーディオ、SACD、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。

●フォト CD、CD-G、CD-EXTRA のデータなど。

記録型ディスクの再生について

●本製品が対応している記録型ディスクであっても、データの記録状態によっては再生できない場合があります。

●ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。
また、レコーダーやパソコンによって、ファイナライズを実行しても本製品で再生できない場合があります。

著作権保護機能（CPRM）のついたディスクの再生について

●著作権保護機能「CPRM」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品はCPRMのVRモード再生に対応していますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオ CD の再生について

●コピーコントロール機能のついたCDの中には、CD規格に合致していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

再生するときの制約

●本取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。
DVD ディスクは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあるため、
操作したとおりに動作しないことがあります。

●ボタン操作中にテレビ画面に ⃠ と表示されることがあります。⃠ と表示されたときは、本製品かディスクがその操作に対応しておりません。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクラベルやパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の音声が収録されています）
	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などのような２種類の字幕が収録されています）
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、３種類の角度で収録されています）
	横：縦＝４：３の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス（横：縦＝４：３で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝１６：９のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（４：３）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード（地域番号）

リージョンコードについて

●DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとにリージョンコード（地域番号）が設定されています。ご使用になるディスクに表示されているリージョンコード（地域番号）と一致しないと再生できません。

本製品のリージョンコード（地域番号）は “2” です。

本製品で再生できる DVD ディスクのリージョンコードについて

●ご使用になるディスクにリージョンコード (地域番号) が設定されている場合、ディスクやパッケージに “2” または “ALL” のリージョンマークが記載されていないと、本製品では再生することが出来ません。

著作権について

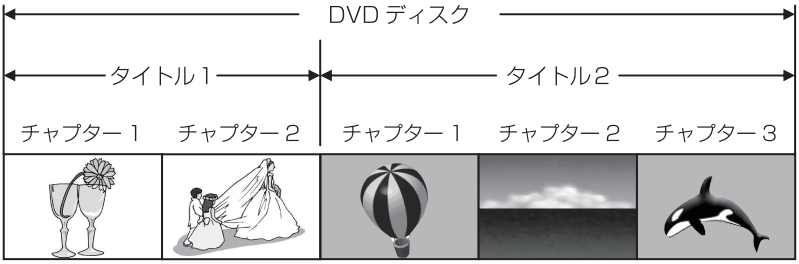
●コンテンツの複製は私的使用のための複製に限られ、個人として楽しむなどのほかは、本製品や複製したコンテンツを使用することができません。

●コンテンツを著作権者に無断で複製、配布、配信、販売などといった二次利用する行為は著作権法に違反します。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

DVDディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。



CD は、「トラック」で区切られています。

タイトル　：DVD ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック　：CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

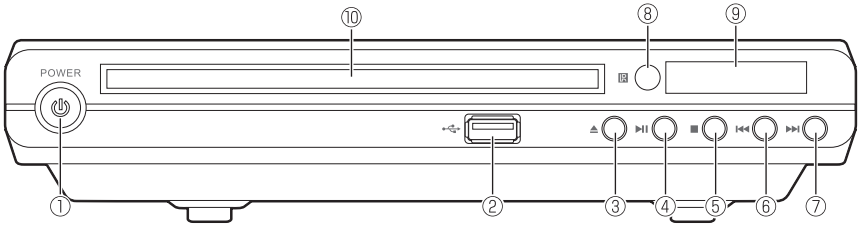
それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号が割り当てられています。
これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

各部名称

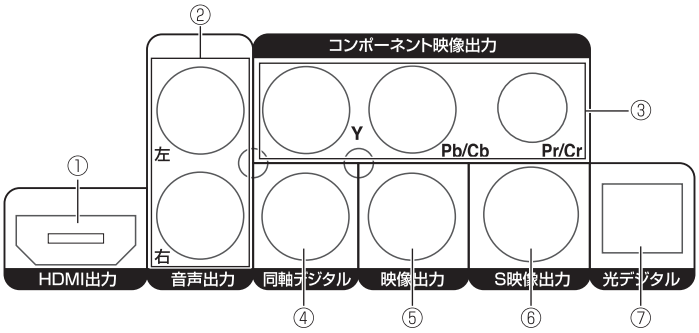
本体とリモコンの各部名称を紹介します。

前面部



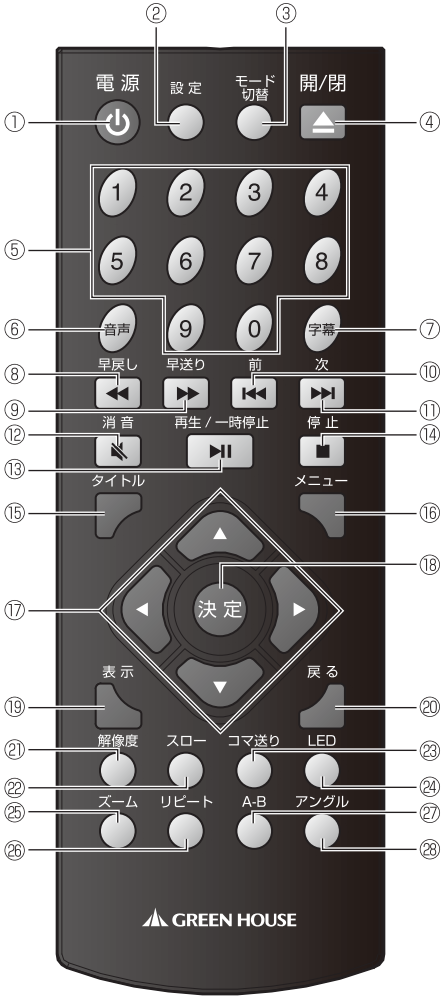
① 主電源のオン / オフをします
② USBメモリーを挿します
③ ディスクトレイを開閉します
④ ディスクやファイルを再生 / 一時停止します
⑤ ディスクやファイルの再生を停止します
⑥ 前のチャプターへ移動します
⑦ 次のチャプターへ移動します
⑧ リモコンから操作を受信します
⑨ 再生時間や動作状況を表示します
⑩ ディスクをセットします

背面部



① HDMI出力端子
② アナログ音声出力端子
③ コンポーネント映像出力端子
④ 同軸デジタル音声出力端子
⑤ コンポジット映像出力端子
⑥ S映像出力端子
⑦ 光デジタル音声出力端子

リモコン


②
③
電 源
設 定
モード切替
開/閉
①
④
1
2
3
4
5
6
7
8
⑤
音声
9
0
字幕
⑥
⑦
早戻し
早送り
前
次
⑧
⑩
⑨
⑪
消 音
再生 / 一時停止
停 止
⑫
⑭
⑬
タイトル
メニュー
⑮
⑯
⑱
⑰
決 定
表 示
戻 る
⑲
⑳
解像度
スロー
コマ送り
LED
㉑
㉓
㉒
㉔
ズーム
リピート
A-B
アングル
㉕
㉗
㉖
㉘
GREEN HOUSE

①	電 源	スタンバイ状態へ移行(復帰)します
②	設 定	設定画面を表示します
③	モード切替	動作モードを切り替えます(ディスク⇔USB)
④	開/閉	ディスクトレイを開閉します
⑤	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	数字を入力します
⑥	音声	音声を切り替えます
⑦	字幕	字幕を切り替えます
⑧	早戻し	早戻し再生をします
⑨	早送り	早送り再生をします
⑩	前	前のチャプターへ移動します
⑪	次	次のチャプターへ移動します
⑫	消 音	消音します
⑬	再生 / 一時停止	ディスクやファイルを再生/一時停止します
⑭	停 止	ディスクやファイルの再生を停止します

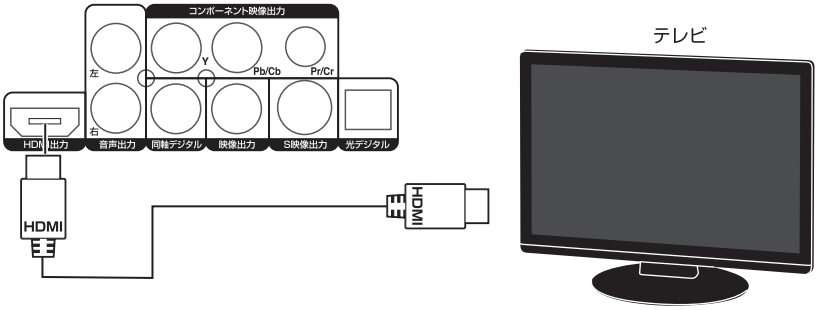
⑮	タイトル	タイトルメニューを表示します
⑯	メニュー	ルートメニューを表示します
⑰		カーソルの移動をします
⑱	決 定	項目の決定をします
⑲	表 示	情報の表示を切り替えます
⑳	戻 る	前の項目に戻ります
㉑	解像度	出力解像度を切り替えます
㉒	スロー	スロー再生をします
㉓	コマ送り	コマ送り再生をします
㉔	LED	本体前面の白色LEDを消灯(点灯)します
㉕	ズーム	画面をズームします
㉖	リピート	リピート再生をします
㉗	A-B	区間指定のリピート再生をします
㉘	アングル	アングルを切り替えます

●上記は一例です。ディスクや実行中のメニューによって動作は異なります。

テレビと接続する

本製品とテレビの接続方法を紹介します。

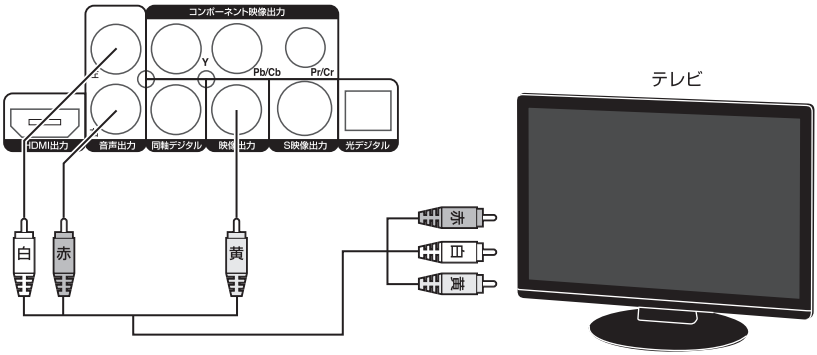
■HDMI入力端子のあるテレビと接続する場合



図のように別売りの HDMI ケーブルでテレビの HDMI入力端子に接続してください。

●本製品の電源とテレビの電源をオフにしてから接続してください。
●テレビによって画面の比率が乱れる場合があります。

■コンポジット入力端子のあるテレビと接続する場合



図のように付属のコンポジットケーブルでテレビのコンポジット入力端子に接続してください。

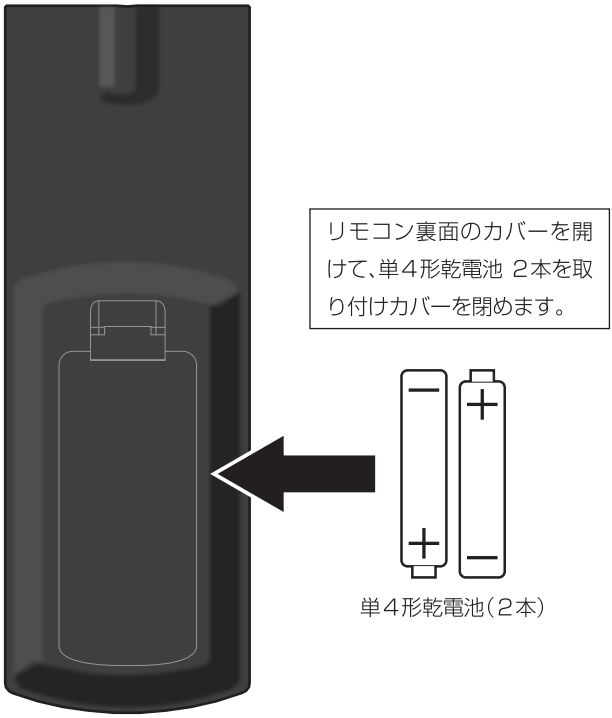
●接続する機器の組み合わせによって画面の比率が乱れる場合があります。

リモコンを準備する

初めてご使用になる場合は、リモコン裏面のカバーを開けて、単４形乾電池２本を取り付けてから、カバーを閉めて使用してください。
電池を交換する場合は、市販の単４形乾電池をリモコンの刻印に従って交換してください。

●長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
●付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

リモコン用乾電池の交換方法



電源操作

電源の操作方法を紹介します。

主電源をオンにする

本体前面の POWER ボタンを押すと、電源がオンになり、画面に「GREEN HOUSE」ロゴが表示されます。

主電源をオフにする

本体前面の POWER ボタンを再度押すと、電源がオフになります。

電源をオンにする（スタンバイモードから復帰する）

電源がスタンバイモードの状態からリモコンの 電源 ボタンを押すと、電源がオンになります。

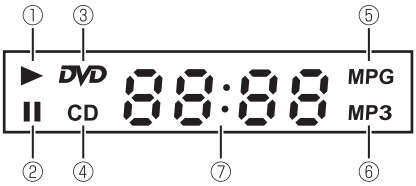
●本体の主電源がオフの状態ではリモコンの 電源 ボタンを押しても動作しません。

電源をオフにする（スタンバイモードへ移行する）

本体の電源がオンの状態でリモコンの 電源 ボタンを押すと、スタンバイモードになります。

前面ディスプレイの表示

本体前面のディスプレイの各表示を紹介します。



①: ディスクやファイルの再生中に表示します。
②: ディスクやファイルの一時停止中に表示します。
③: DVD-VIDEO 再生時に表示します。
④: CD 再生時に表示します。
⑤: MPG ファイル再生時に表示します。
⑥: MP3 ファイル再生時に表示します。
⑦: 現在の操作状況等を表示します。。

HELO	HELLO	電源をオンにすると表示されます。
OFF	OFF	電源をオフにすると表示されます。
OPEN	OPEN	ディスクトレイが開く時に表示されます。
CLOS	CLOSE	ディスクトレイが閉じる時に表示されます。
LOAd	LOAD	ディスクの読込中に表示されます。
NOCd	NO CD	ディスクが挿入されていないと表示されます。
17:35	（再生時間）	ディスクやファイルの再生時間を表示します。
StOP	STOP	ディスクやファイルの再生停止中に表示されます。
tItL	TITLE	タイトルメニュー表示中に表示されます。
rOOt	ROOT	ルートメニューに表示中に表示されます。

●ディスクやファイルの種類により上記の通り表示されない場合があります。

ディスクを再生する（基本編）

ディスクの基本操作を紹介します。
操作方法はディスク再生時のリモコン操作を中心に解説します。

●DVD ディスクの収録状態によって、操作ができない場合があります。
●レコーダーなどで録画したディスクは解説する機能が使用できない場合があります。
●再生できないディスクや、ディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。

ディスクを再生する

1. ディスクトレイを開けます

本体前面の▲◯ボタンか、リモコンの 開/閉 ボタンを押してディスクトレイを開けます。

2. ディスクを入れます

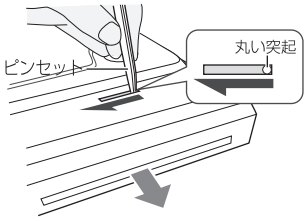
再生面を下にして、ディスクトレイにディスクをセットします。

3. ディスクトレイを閉めます

本体前面の▲◯ボタンか、リモコンの 開/閉 ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が開始されます。

●ディスクトレイが開かなくなり、ディスクが取り出せない場合

本体底面の穴の右端にピンセットなど差し込み、穴の奥にある丸い突起を挟んで、矢印の方向に動かし、わずかに開いたディスクトレイを手で引き出してください



再生を停止する

リモコンの 停止 ボタンを押すと、再生が停止し「GREEN HOUSE」のロゴ画面になります。

リモコンの 停止 ボタンを 1度押した場合は停止位置が記憶されますが、ボタンを2度押した場合は停止位置が記憶されませんので、ディスクの先頭から再生が開始されます。

一時停止する

再生中にリモコンの 再生 / 一時停止 ボタンを 1 度押すと一時停止できます。
通常再生に戻るには、もう 1 度 再生 / 一時停止 ボタンを押してください。

ディスクの先頭から再生する

リモコンの 停止 ボタンを続けて 2 回押すと、画面右上に「■」が表示されます

リモコンの 再生 / 一時停止 ボタンを押すと、ディスクの先頭から再生されます。

早送り/早戻しする

再生中にリモコンの 早送り / 早戻し ボタンを押すと、早送り / 早戻し再生になります。

早送り ボタンを押すごとに早送りスピードが 2× ～ 32× で変化します。

早戻し ボタンを押すごとに早戻しスピードが 2× ～ 32× で変化します。

通常再生に戻るには 32× の状態でもう一度、早送り / 早戻し ボタンを押します。
リモコンの 再生 / 一時停止 ボタンを押しても戻れます。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの 次 / 前 ボタンを押すと、前後のチャプターを選択できます。

次 ボタンを押すと、次のチャプターの開始地点へ移動します。

前 ボタンを押すと、再生中のチャプターの開始地点へ移動します。
前のチャプターの開始地点へ移動するには 2 回押してください。

メニュー画面を表示する

メニュー画面が記録されている DVDディスクでは、メニュー画面からタイトルやチャプターを選択しての再生、音声や字幕の設定が可能なものもあります。

リモコンの

ボタンを押すと、DVDディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

リモコンの ボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

リモコンの

ボタンを押すと、選択した項目が表示されます。

ディスクを再生する（応用編）

ディスクの応用操作を紹介します。

音声を切り替える

複数の音声が記録されている DVD ディスクは、音声の切り替えができます。
※例：DVD ディスクに「日本語」と「英語」が収録されている場合はどちらか選択できます。

再生中にリモコンの 音声 ボタンを押すごとに音声が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って音声を切り替える場合があります。
●1 つの音声しか記録されていないディスクでは、音声の切り替えはできません。
●DTS 収録された音声は、ビットストリーム出力時以外では再生できません。

字幕を切り替える

字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕の表示 / 非表示を切り替えられます。
また、複数の字幕が記録されている DVD ディスクでは、字幕を切り替えられます。

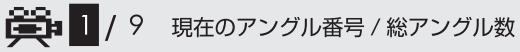
再生中にリモコンの 字幕 ボタンを押すごとに表示される字幕が切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面を使って字幕を切り替える場合があります。
●字幕が記録されていないディスクや、1 つの字幕しか記録されていないディスクでは、字幕の切り替えはできません。

アングルを切り替える

複数アングルが記録されているディスクでは、アングルを切り替えられます。

リモコンの アングル ボタンを押すと画面右上に下のように表示されます。



リモコンの ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ ボタンで、アングル番号を選択してください。

再生中の画面アングルが切り替わります。

●ディスクによっては、メニュー画面でアングルを切り替える場合があります。
●1 つのアングルしか記録されていないディスクでは、アングルの切り替えはできません。

スロー再生する

再生中の速度を 1/2 ～ 1/16 倍でスロー再生できます。

DVD ディスク再生中に、リモコンの スロー ボタンを押すと、スロー再生になります。
ボタンを押すごとに [1/2] [1/4] [1/8] [1/16] が選択でき、もう一度 スロー ボタンを押すと通常再生に戻ります。

●スロー再生中は、音声は再生できません。
●ディスクによっては、スロー再生できない場合があります。

ディスクを再生する（便利な再生機能編）

ディスクの便利な再生機能を紹介します。

再生中の情報を表示する

再生中のディスク情報を画面上部に表示して確認できます。

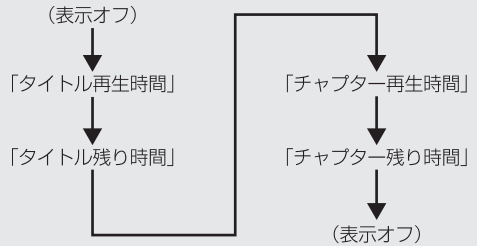
再生中にリモコンの

ボタンを押すと下のように画面に表示されます。

タイトル：01/03　チャプター：17/36　1:08:26　※タイトル再生時間の一例です。

リモコンの

ボタンを押すごとに情報表示が切り替えできます。



●ディスクによっては、時間などが正常に表示されない場合があります。

サーチ再生する

タイトルやチャプターを指定して、頭出し再生ができます。項目はリモコンの

ボタンで移動し、数字の入力は
ボタンで行います。

再生中にリモコンの
ボタンを押すと、下のように切り替えできます。

タイトル: 01/03　チャプター: □/36　・・・　タイトル/チャプター番号を指定できます。

●ディスクによっては、サーチ再生できない場合があります。

ズーム再生する

DVD ディスク再生中に、リモコンの ズーム ボタンを押すと、ズーム再生になります。
ボタンを押す毎に [2×] [3×] [4×] [1/2] [1/3] [1/4] が選択でき、
もう1度 ズーム ボタンを押すと通常再生に戻ります。

●ディスクによっては、ズーム再生できない場合があります。

リピート再生する

お好みの「チャプター」「タイトル」をリピートして再生できます。

リモコンの リピート ボタンを押すごとに下のリピートモードが選択できます。

チャプター	・・・現在のチャプターを繰り返し再生し、チャプターの最後まで再生すると、チャプターの先頭から再生が始まります。
タイトル	・・・現在のタイトルを繰り返し再生し、タイトルの最後まで再生すると、タイトルの先頭から再生が始まります。
オール	・・・ディスク全体を繰り返し再生します。
リピートオフ	・・・リピート再生を無効にします。（通常再生に戻ります。）

●ディスクによっては、リピート再生できない場合があります。
●CD 再生時は「トラック」「オール」「リピートオフ」が使用できます。

指定区間リピート再生する

お好みの 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

再生中に開始位置に指定したい箇所でリモコンの A-B ボタンを押すと、画面上に「A」と表示され、開始位置が記録されます。

画面上に「A」と表示されている状態で、終了位置に指定したい箇所で、もう一度 A-B ボタンを押すと、画面上に「AB」と表示され、指定した 2 点間がリピート再生されます。
通常再生に戻るには「AB」と表示されている状態で A-B ボタンを押します。

●ディスクによっては、指定区間リピート再生できない場合があります。

外部メモリーを使用する

使用できる外部メモリー

以下の外部メモリーに対応しています。

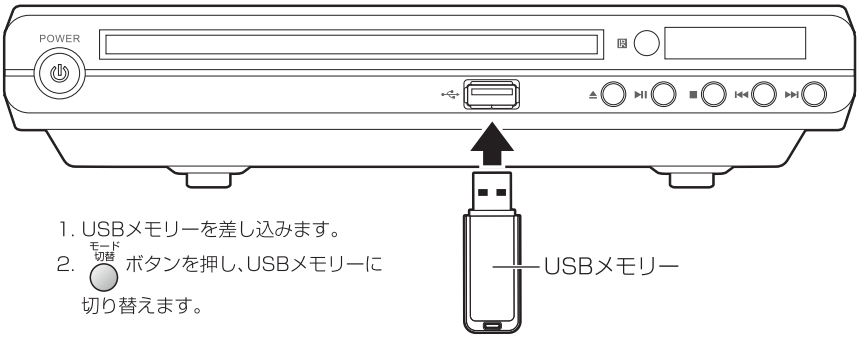
・USB メモリー

●すべての外部メモリー、すべての容量の動作保証をするものではありません。
●FAT または FAT32 でフォーマットされた外部メモリーのみ使用できます。
その他のフォーマットに設定された外部メモリーでの動作保証はしておりません。

USB メモリーを取り付ける

USB ポートを使用して USB メモリーから音楽・画像・動画を再生する方法を紹介します。

USBメモリーから再生する



●USB メモリーは、読み込みをしてない時に取り外してください。
●音楽ファイル、動画ファイル、画像ファイル再生中の場合、停止 ボタンを押して、再生を停止させてから USBメモリーを取り外してください。
●搭載されている USB ポートは、USBメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本製品や USB メモリーの故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。

ファイルメニューの操作

ファイルメニューの操作方法を紹介します。

ファイルメニューの表示

対応するフォーマット形式の動画ファイル、音楽ファイル、画像ファイルが再生できます。
対応する外部メモリーを挿入し、モード切替 ボタンを押すと、ファイルメニューが表示されます。

●対応するフォーマット形式であっても、すべてのファイル、すべての対応外部メモリーの動作保証をするものではありません。
●日本語ファイル名は正常に表示されない場合があります。

ファイルメニューの基本操作

リモコンの ボタンで再生したいファイルを選択し、決定 ボタンを押してください。
ファイルが再生または表示されます。別のフォルダに移動したい場合は、フォルダを選択し、
決定 ボタンで移動してください。

●ファイルや動作中のモードによって機能が使用できない場合があります。

ファイル番号を指定して再生する

ファイルメニュー画面でリモコンの0 1 2 3 4 5 6 7 8 9ボタンを押すと、ファイル番号を指定して再生できます。
ファイルメニュー左上部の箇所に「--2/009」（0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ボタンの 2 を押した場合）のように選択した番号が反転表示されるので、リモコンの 決定 ボタンを押してください。

動画ファイルを再生する

動画ファイルを選択してリモコンの 再生 / 一時停止 ボタンか 決定 ボタンを押すとフルスクリーン再生されます。
動画ファイルを再生中に以下の機能が使用できます。

決定 ・・・再生します。

停止 ・・・再生を停止します。

再生 / 一時停止 ・・・再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。

次 ・・・次の動画ファイルに移動します。

前 ・・・前の動画ファイルに移動します。

早送り ・・・ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早送り再生します。

早戻し ・・・ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早戻し再生します。

リピート ・・・ボタンを押すごとにリピート方法の種類を選択できます。

ズーム ・・・ボタンを押すごとに [x2] [x3] [x4] [x1/2] [x1/3] [x1/4] と再生画面が変更できます。

A-B ・・・指定区間リピート（AB リピート）します。

表示 ・・・[再生時間] [残り時間] [表示オフ] の順に情報表示を切り替えます。

消音 ・・・消音します。

メニュー ・・・ファイルメニューに移動します。

音楽ファイルを再生する

音楽ファイルを選択してリモコンの 再生 / 一時停止 ボタンか 決定 ボタンを押すと再生が開始されます。
音楽ファイルを再生中に以下の機能が使用できます。

・・・ 再生します。

・・・ 再生を停止します。

・・・ 再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。

・・・ 次の音楽ファイルにカーソル移動します。

・・・ 前の音楽ファイルにカーソル移動します。

・・・ ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早送り再生します。

・・・ ボタンを押すごとに [2x] [4x] [8x] [16x] [32x] で早戻し再生します。

・・・ ボタンを押すごとにリピート方法の種類を選択できます。

・・・ 指定区間リピート（AB リピート）します。

・・・ 消音します。

・・・ ファイルメニューに移動します。

画像ファイルを表示する

画像ファイルを選択してリモコンの 再生 / 一時停止 ボタンか 決定 ボタンを押すとフルスクリーンでスライドショー表示されます。

画像ファイル再生中に以下の機能が使用できます。

・・・ 再生します。

・・・ 再生を停止します。

・・・ 再生を一時停止します。
通常再生に戻るには、もう一度ボタンを押してください。

・・・ 次の画像ファイルに移動します。

・・・ 前の画像ファイルに移動します。

・・・ 時計回りに 90 度単位で回転表示します。

・・・ 反時計回りに 90 度単位で回転表示します。

・・・ ボタンを押すごとにリピート方法の種類を選択できます。

・・・ ボタンを押すごとに [100%] [125%] [150%] [200%] [75%] [50%] と再生画面が変更できます。

・・・ スライドショー効果を切り替えます。

・・・ ファイルメニューに移動します。

設定画面の操作

設定を変更するには設定画面で変更します。

リモコンの 設定 ボタンを押すと、以下のように表示されます。

リモコンの ◀ / ▶ ボタンで項目を選択し、決定 ボタンで確定します。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	解説
一般設定	アングルマーク	オン		①
		オフ		
	スクリーンセーバー	オン		②
		オフ		
	ラストメモリー	オン		③
		オフ		
	前面 LED	オン		④
		オフ		
	自動電源オフ	オン		⑤
		オフ		

①: アングルマーク表示を [オン][オフ] を設定します。
②: スクリーンセーバーの [オン][オフ] を設定します。
③: ラストメモリー機能の [オン][オフ] を設定します。
④: 本体前面の LED の [オン][オフ] を設定します。
⑤: 自動電源オフ機能の [オン][オフ] を設定します。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	解説
映像設定	ワイド映像出力	パンスキャン		⑥
		レターボックス		
		ワイド		
	アナログ映像出力	コンポーネント		⑦
		S 端子		
	出力解像度	480i		⑧
		480p		
		720p		
		1080i		
		1080p		
	画質調整	明るさ	-20 ～ +20	⑨
		コントラスト	-16 ～ +16	
		色合い	-9 ～ +9	
		彩度	-9 ～ +9	

⑥: ワイド映像の表示方法を設定します。接続するテレビに応じて変更してください。
⑦: コンポーネント映像端子とS映像端子のどちらで映像出力させるかを設定します。
⑧: 出力解像度を設定します。
⑨: [明るさ][コントラスト][色合い][彩度] を調整します。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	解説
音声設定	デジタル音声出力	ビットストリーム		⑩
		PCM		
	ダウンサンプリング	48kHz		⑪
		96kHz		

⑩: デジタル音声出力の方法を設定します。
⑪: PCM 出力の方法を設定します。

1 階層	2 階層	3 階層	4 階層	解説
初期設定	画面表示言語	英語		⑫
		日本語		
	ディスク言語	音声言語	英語	⑬
			日本語	
		字幕言語	英語	⑭
			日本語	
			オフ	
		メニュー言語	英語	⑮
			日本語	
	視聴制限	レベル 1		⑯
		レベル 2		
		レベル 3		
		レベル 4		
		レベル 5		
		レベル 6		
		レベル 7		
		レベル 8(無制限)		
	初期化	リセット		⑰

⑫: 画面の表示言語を設定します。
⑬: ディスクの音声言語を設定します。
⑭: ディスクの字幕言語を設定します。
⑮: ディスクメニュー言語を設定します。
⑯: ペアレンタルコントロールのレベルを設定します。
　変更にはパスワードを入力する必要があります。
　パスワードは [171935] です。
⑰: 設定を工場出荷時の状態に戻します。

故障かな？と思ったら

製品本体

電源が入らない

●電源プラグをコンセントへしっかりと差し込み、POWER ボタンを入れなおしてください。

リモコンがきかない

●主電源をオンにしてください。
●電池の＋、－の向きを確認してください。(P.23)
●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.23)
●リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。(P.19)
●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。

映像がテレビに映らない

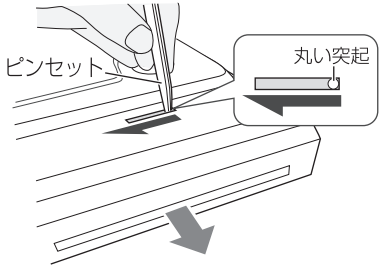
●映像ケーブルが正しく接続されているか確認してください。(P.22)
●映像ケーブルが破損していないか確認してください。
●テレビ側の外部入力モードなどが適切か確認してください。

勝手に電源が切れる

●本製品は自動電源オフ機能があり、15分間以上操作されない場合、自動的にスタンバイモードになります。(再生中を除く) (P.38)

ディスクトレイが開かなくなり、ディスクが取り出せない

●本体底面の穴の右端にピンセットなど差し込み、穴の奥にある丸い突起を挟んで、矢印の方向に動かし、わずかに開いたディスクトレイを手で引き出してください。



すべての設定を初期設定に戻したい

●設定画面の「初期設定」から「初期化」を選択し、出荷時の設定に戻してください。(P.39)

●静電気や落雷、他の機器との干渉により、本製品が正常に機能しない場合があります。その際は、本製品の電源をオフにしてからオンにする、または電源をオフにしてから電源コードのプラグを抜き、再び挿し込んでから電源をオンにすることにより正常動作になる場合があります。

ディスク再生

再生できない	●本製品で再生できるディスクか確認してください。(P.14) ●ディスクのリージョンコードを確認してください。(P.17) ●視聴年齢制限が設定されていないか確認してください。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.12) ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部やディスクに露が付くことがあります。1 ～ 2 時間放置してください。(P.12)
録画したディスクが再生できない	●ディスクがファイナライズされていない場合、再生することができません。
映像が乱れる	●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。(P.12) ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。
音声言語が切り替えられない	●複数の音声が収録されていないディスクでは切り替えできません。(P.16) ● 音声 ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.28)
音声が出ない	●テレビの音量レベルを確認してください。 ●早送り / 早戻し再生中に音声は出ません。 ● 音声 ボタンで切り替えてください。(P.29)
字幕言語が切り替えられない	●複数の字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。(P.16、P.29) ● 字幕 ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。(P.28)
字幕が出ない	●字幕が「オフ」になっている場合は、字幕 ボタンで切り替えてください。(P.29)
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。(P.16、P.30) ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。(P.30)

ファイルモード

動画ファイルや音楽ファイルが再生できない	●対応ファイル形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になります。

仕様

製品型番	GH-DVP1C
対応ディスクフォーマット	DVD-VIDEO / DVD-VR(CPRM 対応) / CD-DA / データ DVD / データ CD
対応ディスクタイプ	DVD-ROM / DVD±R / DVD±R DL / DVD±RW / CD-ROM / CD-R / CD-RW
対応音声コーデック	PCM / Dolby Digital / DTS ※DTS はビットストリーム出力のみ対応
ラストメモリー機能	最大 1 件まで記憶 ※設定で機能を「オン」にする必要があります。
対応外部メモリー	USBメモリー (～ 32GB) ※FAT または FAT32 でフォーマットされた外部メモリーのみ対応
対応ファイル形式	MPEG1 / MPEG2 / MP3 / JPEG
出力信号方式	NTSC
映像出力解像度	1080p / 1080i / 720p / 480p / 480i
搭載端子	HDMI 出力端子 ×1 コンポーネント映像出力端子 ×1 S 映像出力端子 ×1 コンポジット映像出力端子 ×1 光デジタル音声出力端子 (角型)×1 同軸デジタル音声出力端子 ×1 アナログ音声出力端子 ×1 USBポート ×1
電源	入力 : AC100V 50/60Hz
消費電力	最大 10W
動作温度範囲	5℃～ 40℃
動作湿度範囲	20% ～ 80%(結露なきこと)
外形寸法	W225 × D230 × H50 (mm)
本体重量量	約 1200g

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポートダイヤル
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/

・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

·本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
·本製品は、日本国外では使用できません。
·本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
·本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
·This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
·This product can not be used outside Japan.
·We have no responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
·We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※本書の著作権は弊社に帰属し、内容の一部または全部を無断に転載することを禁じます。
※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。
※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
※本書に記載の会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。
※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

MEMO

GH-DVP1C シリーズ

GREEN HOUSE™ 株式会社グリーンハウス
〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.1